

事務事業名	放課後児童対策事業(委託)		所属部	こども政策局	所属課	こども政策課
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	教育・保育グループ	課長名 後藤 和子
	施策名	〈25〉子育て支援の充実		担当者名	吉川 裕子	電話番号 0854-40-1044 (内線) 2253
	目的・対象	A)子どもの保護者と産み育てたい夫婦 B)乳幼児・児童・生徒(0～18歳)		意図	A)安心して子育てができる。 B)心身ともに健やかに育つ。	
	基本事業	〈075〉地域における子育て支援の充実		予算科目	会計 款 大事業 大事業 0:1 1 5 0:3 項 目 中事業 中事業 1:0 0 5 0:2	事業名 児童福祉事業 放課後児童対策事業(委託)

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
仕事などで昼間保護者のいない小学校児童。 平成27年度から1～6年生対象となる。	昼間保護者のいない家庭の児童の安全確保と健全育成。 保護者の仕事と家庭の両立支援。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(H16 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	仕事などで昼間保護者のいない小学校児童を対象とし、放課後等に適切な遊び及び生活の場を提供し健全な育成を図る事業。 【対象児童クラブ名】ちゃれんじクラブ/学童クラブキリカ/うしお児童クラブ/西児童クラブ/加茂第1児童クラブ/加茂第2児童クラブ/きすき児童クラブ/寺領児童クラブ/斐伊児童クラブ/三刀屋放課後児童クラブ/かけや児童クラブ
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) ・利用対象児童を審査のうえ決定し、委託先の児童クラブで受入。 ・斐伊児童クラブの延長時間新設(18:00～19:00)及び長期休暇中等の開所時間拡大(8:00～→7:30～)、うしお児童クラブの延長時間拡大(～18:30→～19:00)及び利用料の見直し、三刀屋放課後児童クラブの受入児童数拡大について検討 ・佐世小学校区児童世帯に対しニーズ調査実施。	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 平成28年度寺領児童クラブ開設、平成30年度加茂第2児童クラブ開設、小規模で実施していた「すずらんアットホーム」を同年度をもって閉所。令和元年度西児童クラブ開設、令和2年度ちゃれんじクラブ移転(定員増)、令和3年度寺領児童クラブ移転(定員増)

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 児童クラブ登録率	%	100.0	100.0	100.0	100.0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
・委託料: 101,600千円(11クラブ分) ・その他施設管理料: 1,253千円 計102,853千円 【財源内訳】 国: 子ども・子育て支援交付金29,674千円 県: 子ども・子育て支援交付金29,674千円 保護者負担金: 16,764千円	財源内訳	国庫支出金	千円 24,802	29,224	29,674	30,015
		県支出金	千円 24,802	29,224	29,674	30,015
		地方債	千円			
		その他	千円 10,440	15,366	16,764	15,000
		一般財源	千円 22,264	26,494	26,741	30,015
	事業費計	千円	82,308	100,308	102,853	105,045

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	就業等により、放課後家庭で監護できない家庭において、放課後の預かりを行うことで、仕事と子育ての両立を図り、以て子育て支援に資した。
② 事業実施するうえでの課題	児童の健全育成と保護者の仕事と家庭の両立支援施策として必要不可欠となっている。多様な児童への対応等に備え、関係機関との連携とともに指導員の更なる資質向上のため、研修等の企画実施及び参加の促進が必要。人材の不足(特に有資格職員の不足)により児童受入人数の増が困難な状況。受け皿確保及び安定したクラブ運営のため、引き続き人材の確保対策に取り組む必要がある。開所時間の延長(長期期間の7:30開所)についてもニーズがあるが対応できてない。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・市内の対象児童数は年々減少しているものの、利用児童数は増加傾向にあるため、需要の状況を見ながらクラブ新設や指導員確保等によるさらなる受け皿拡大が必要。また、職員の資質向上も必要であるため、研修等を企画・実施する。 ・開所時間の延長(長期期間の7:30開所等)が求められているので、クラブ形態(単独施設・併設施設)や地域のニーズに応じた対応を引き続き検討する。